

10月14日 11月初旬までは「空売り」と「我慢」

先週までで、株式市場の、いわゆる「ボーナスステージ」は終了しました。

郵政3社の仮条件決定があった10月7日までの1週間は、上海市場の休場と国連総会と重なったボーナスステージだったと言えますね。

この期間は、悪いニュースが出にくくかつ、政府・日銀が株価を支えたい事情があったわけですね。

そして、10月末から11月初旬は、相場は各企業の業績予想の下方修正に怯えることになるでしょう。

思いのほか悲観的な北米、欧州、アジア・中国の経済情勢に、4月期初の予想を下方修正する最初のタイミングは、2Q発表（3月決算銘柄）のこの時期です。

さらに各国政府は、国連総会が終わり、またまた好き勝手なことをやり始めます。特に中国は、国連で対米対立を明確にしたくらいですから、何するものかわかりません。

というわけで、簡単に想定すれば、以下の想定ができます。

10月中旬から10月末は気迷い（個別に、銘柄を狙いましょう）

10月末から11月初旬が下落、

11月中旬から12月中旬が戻り&上昇、

12月下旬がちょっと下落・・・

それにしても金曜日のファーストリテイリングは見モノでした。

前日に発表された業績は、利益面で会社予想を若干下回ったものの、最高益を更新。

しかし、市場予想のコンセンサスを下回っていたことを嫌気され、株価は急落しました！

この下げ方がまた派手で、大きく窓を開けましたが、買うチャンスは秒読みではないでしょうか。

週明けにすぐ戻すところのメルマガでは間に合いませんが、もし皆さんがご覧になったときに下げ続けていれば、チャンスがあるのでは？